

「萬商相談」で日本各地の「埋もれた宝」を発掘し磨く

金井毅

KANAI TAKESHI

経歴

1983年 電通入社。メディア業務、営業部門、販促部門を経て、事業開発などに携わる。
2021年3月電通退社後、「萬商相談」を立ち上げ、様々な企業や自治体などのビジネス推進のサポートを開始。
同時にニューホライズンコレクティブに参加、「売れる仕組み創造室」を立ち上げる

https://newhorizoncollective.com/news/C05KjmFrvUvB_Q

<主な活動経歴> <https://note.newhorizoncollective.com/n/ne5cb91f2c04e>

官公庁・自治体等アドバイザー・コンサル業務：主に商品&サービス改良・開発・販売戦略など

- 高知県地産外商アドバイザー ●安曇野市観光ヴィジョン策定委員・安曇野市商農工連携アドバイザー
- 米原市まち・ひと・しごと創生有識者委員会座長 ●宮城県水産加工品品評会審査委員
- 埼玉県「NEXT商店街」プロジェクト推進委員 ●岩手県産業創造アドバイザー
- 東北水産加工イノベーションプロジェクトプロモーター ●東北復興水産加工品商品支援事業総合プロデューサー
- 関東経産局地域支援プログラムディレクター ●中小企業基盤整備機構「震災復興アドバイザー」
- 日本スーパーマーケット協会「次世代販促」プロジェクト委員 ●復興庁グループ化支援事業ディレクター など

大学での講師：地域支援の一環としてリアルなクライアントの課題解決を学生とともに考える

- 県立静岡文化芸術大学「マスメディア論」講師 ●国立大学法人信州大学「経営工学」講師 ●常葉大学造形学部講師

その他、地方自治体・地銀・企業要請による講演多数

風評被害に苦しむホヤを使った商品開発。箱のデザインは常葉大学生



塩釜のかまぼこブランド作業。ブランドロゴデザインは常葉大学生



コエドビール「祭りエール」コロナで苦しむ東北六大祭りを支援するビールを企画・開発



参加理由

電通で得た様々な経験や知見、ネットワークを活かして地域を元気にすることを目的として参加しました。
このような仕事は企業で取り組むよりも個人事業主として取り組んだ方が小回りも効くので。

